

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 新 集落営農後継者育成等推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農業経営課担い手対策室経営体強化育成係 電話番号：058-272-1111 (内 2847)

E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **1, 000千円 (前年度予算額：0千円)**

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

中山間地域においては、担い手が不足するとともに、農地条件が不利であることから、担い手への農地集積が進まない状況である。

このため、中山間地域での集落営農組織の設立・法人化や後継者育成、農地集積を推進する推進地域を選定し、当該地域への重点的な支援を行い、その成果を県下に波及することで、県全体での事業推進を図る。

(2) 事業内容

ア 集落営農の後継者育成の推進

就農相談会への参加、オペレーター募集チラシの配布などの後継者確保に向けた取組みや、集落営農のオペレーターを希望する者に対する農業機械の操作等に関する実践的な研修会の開催等に係る経費を助成

イ 集落営農組織の設立・発展の推進

集落営農の組織化・法人化や合併・連携に向けた検討会の開催、農地集積の促進に向けたアンケート調査の実施、スマート農業技術などの新技術導入に向けた専門家の招へい等に係る経費を助成

ウ 集落営農組織の後継者育成の促進

集落営農組織の合併・連携に向けた、検討会の開催、作付計画の検討や、スマート農業導入に向けた専門家の招へい等に必要な経費を助成。

(3) 県負担・補助率の考え方

定額（200千円）

中山間地域における担い手育成及び農地集積は、県農業を維持・発展するために必要であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,000	・集落営農の組織化・法人化、後継者育成等に係る地域の活動経費を助成。
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業・農村基本計画、岐阜県農業経営基盤強化促進基本方針、岐阜県農地中間管理事業の推進に関する基本方針

(2) 後年度の財政負担

中山間地域における集落営農組織の育成及び農地中間管理事業による農地集積の推進には、更にモデル地域を増やすことが有効であり、継続的な財政負担が必要である。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	集落営農後継者育成等推進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、農業者からなる団体等 （理由） 地域の実情を通じ、事業効果を高めるために 関係機関と連携して取り組みため
補助事業の概要	（目的） 集落営農の育成、後継者の育成 （内容） 集落営農の設立、経営強化、後継者育成の取 組みを支援
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） 定額 （理由） 中山間地域における担い手育成及び農地集積 を推進するため
補助効果	集落営農の育成及び農地集積の推進
終期の設定	終期 令和7年度 （理由） ぎふ農業・農村基本計画の目標年度

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 中山間地域における集落営農組織の育成及び担い手への農地集積を推進</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 集落営農育成数		検討中	検討中
②			

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	千円	(要求額) 1,000千円
指標①目標	(H28)	(H29)	(H30)	(R元)	(R2目標)
指標①実績	(推計値)	(推計値)	(推計値)	(推計値)	(推計値)
指標①達成率	(推計値)	(推計値)	(推計値)	(推計値)	(推計値)
指標②目標					(R元目標)
指標②実績	(推計値)	(推計値)	(推計値)	(推計値)	(推計値)

指標②達成率	(推計値) — %	(推計値) — %	(推計値) — %	(推計値) — %	(推計値) — %
--------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	○ 担い手が不足する中山間地域の集落営農の育成とともに、本県の零細な農業者の競争力強化を図るには、担い手への農地集積による生産性向上及び経営力強化が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
